

宝グループ・サステナビリティ・ビジョン

宝グループは「自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します」という企業理念のもと、日本伝統の酒造りの発酵技術と最先端のバイオ技術の革新を通じて、食生活や生活スタイル、ライフサイエンスにおける可能性を探求し、新たな価値を創造し続けることによって社会への貢献を果たしてきました。

穀物や水、微生物といった様々な自然の恩恵のもとで事業活動を行う当社グループにとって、豊かな自然環境が保たれることは、事業を継続するうえでの大前提です。また、食品や医療に関わる事業を営む企業として、安全・安心な製品・商品・サービスを提供することは最も重要なテーマであり、同時にアルコール関連問題をはじめとする様々な社会課題にも対処していく必要があります。

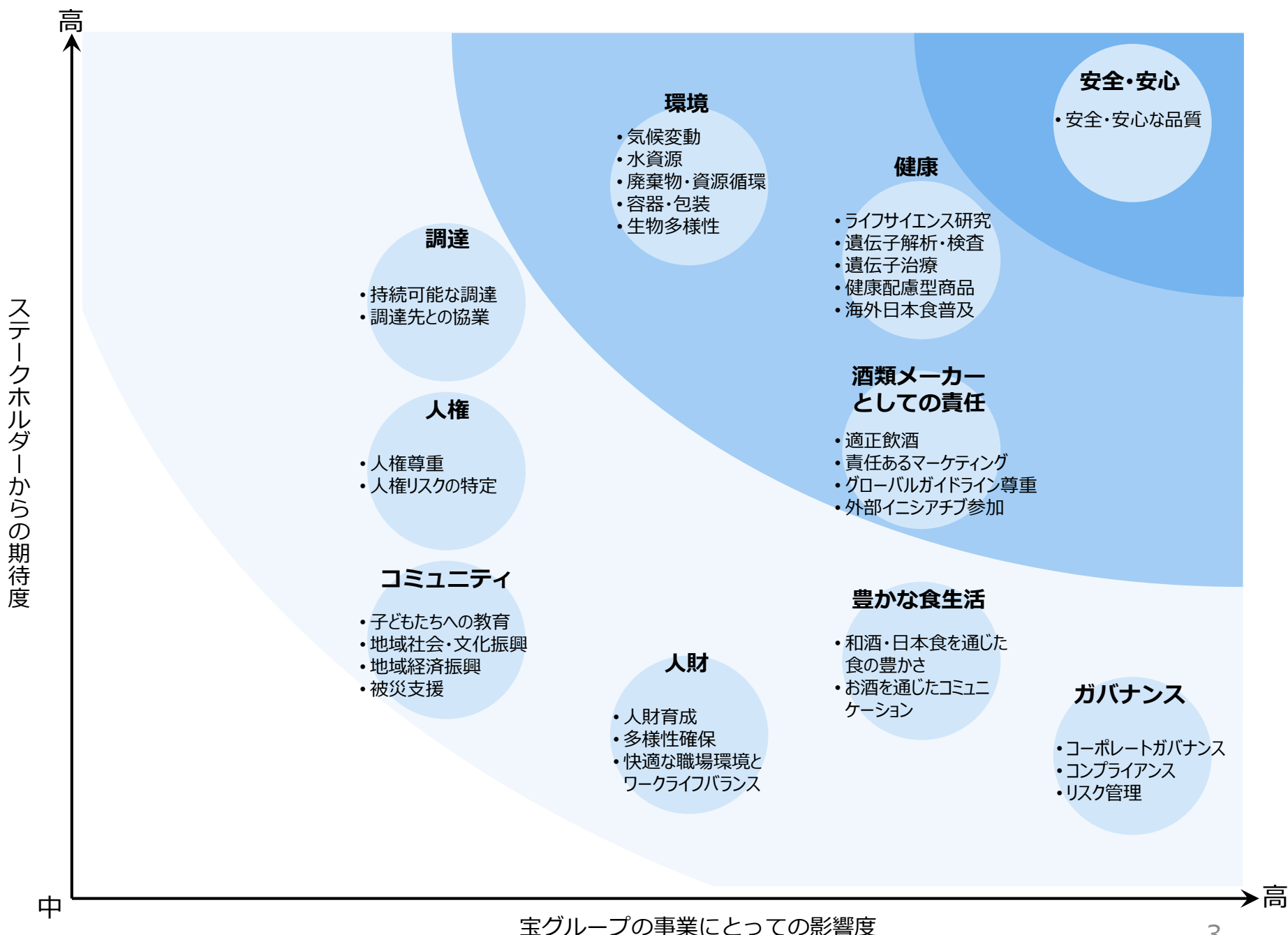
近年、当社グループを取り巻く社会環境は急速に変化し、気候変動、生物多様性保全、資源保全、人権尊重といった多様な課題への対応が世界的規模で求められており、持続可能な社会づくりに向けた企業の責任はますます大きくなっています。

当社グループは、長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」のなかで、人と人の繋がりと、笑顔にあふれた健康的で豊かな日々の暮らしの実現に貢献することを宣言しています。事業活動を通じた社会的価値の創造を将来にわたって実現し続けていくためには、様々な社会課題の解決にこれまで以上に取り組む必要があるという認識のもと、2020年5月、長期経営構想に合わせ「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」を公表しました。

「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」では、当社グループを取り巻く社会課題について、「安全・安心」をはじめとする10の重要課題（マテリアリティ）を取り上げ、各々についての取り組み方針を示しており、今般、その方針に基づく具体的な中長期目標を設定した「宝グループ・サステナビリティ・ビジョン」を策定しました。

当社グループは、これからも事業活動を通じた社会的価値の創造により、ステークホルダーの皆様から信頼される企業グループを目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

マテリアリティ・マトリクス



宝グループの事業にとっての影響度

安全・安心 (1/2)

宝グループは、食品や医療に関わる企業として、お客様に安心を感じて頂くことが重要であると考えています。将来にわたってお客様に信頼される企業グループであり続けるために、「宝グループ品質方針」を定め、取り組みを進めています。

「宝グループ品質方針」

私たちは、「自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します。」という宝グループの企業理念のもと、安全で安心していただける商品・サービスを世界中のお客様にお届けします。

1. 私たちは、お客様の声に真摯に耳を傾け、ご満足頂ける品質を追求します。
2. 私たちは、お客様に商品をお届けするまでの全てのプロセスにおいて、グループ一体となって品質保証活動に取り組みます。
3. 私たちは、関連する法令・自主基準を遵守します。
4. 私たちは、適切でわかり易い情報提供に努め、お客様の信頼にお応えします。

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(1)宝酒造における安全・安心な品質の確保	食品安全マネジメントシステム (FSSC22000 国内自社工場6拠点)の維持	【宝酒造】 ・自社工場全6拠点*のFSSC22000を維持する。 (*松戸工場、楠工場、伏見工場、白壁蔵、黒壁蔵、島原工場)
	宝酒造の安全な商品づくり ・設計段階における関連法令・自主基準への適合性審査 ・安全性を確認した原料の安定調達 ・安全かつ安定した品質を作り込む製造ラインの維持・向上	【宝酒造】 ・商品設計、原料調達、製造の各段階における安全品質の確認を徹底し、品質管理体制をいっそう強化させる。 ・新規委託先及び新規原料サプライヤーへの監査と品質管理評価の実施率100%を維持する。 ・品質保証書による原材料の安全性確認100%を維持する。
	お客様満足の追求 (ISO10002)	【宝酒造】 苦情対応プロセス及び対応部門の知識を向上させる。 a)お客様相談室スタッフの知識向上に向け、品質管理部門による講習を年1回以上行う。 b)お客様訪問時における対応品質向上に向け、訪問時マニュアルに対する理解度テストを実施する。(テスト実施率100%達成)

安全・安心（2/2）

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(2)タカラバイオグループにおける安全・安心な品質の確保	タカラバイオグループの品質マネジメントシステム（ISO9001ほか）の維持	【タカラバイオグループ】 ・すでにISO認証を取得した事業所におけるISO認証を維持し、品質向上及び顧客満足度の向上に努める。必要に応じて、ISO認証取得範囲の拡大に努める。 ・事業に必要な業許可・登録等を維持する。
	GMP/GCTP（※1）等の各種品質・製造・安全基準、第三者認証制度への適合・維持 製品情報の適切な開示	【タカラバイオグループ】 自社製品に関し、2025年までに、SDS（セーフティー・データ・シート※2）を多様な言語（日、英、中）で情報提供を行う。
(3)宝酒造インターナショナルグループにおける安全・安心な品質の確保	グローバルな品質保証体制構築に向けた取り組み ・海外の食品安全法規情報の把握と遵守 ・主な海外グループ会社の食品安全に関する認証取得推進	【宝酒造インターナショナルグループ】 ・輸出対象国の食品法規適合率100%を継続する。 ・2025年までに海外グループ会社への品質監査を実施し、品質リスクとなる要素が発見された場合は適切に是正する。

※1 GMP：Good Manufacturing Practice、GCTP：Good Gene, Cellular, and Tissue-based Products Manufacturing Practice

※2 SDS：Safety Data Sheet（化学物質等安全データシート）

健康

宝グループは、食品や医療に関わる企業として、製品やサービスを通じて人間の健康的な暮らしに貢献することを目指しています。遺伝子治療などの革新的なバイオ技術の開発や関連するサービスの提供や、健康に配慮した商品の開発など、人々が健康的な生活を継続して楽しむことのできる社会づくりに取り組んでまいります。

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(1)世界のライフサイエンス研究と発展への支援	ライフサイエンス研究・産業の発展を幅広く支援	【タカラバイオグループ】 安定的な製品供給にむけて、日本・中国・米国・欧州等の主要拠点の製造施設の整備を進め、最適化を図ることで、ライフサイエンス研究の発展をグローバルで支援する。
	ライフサイエンスコミュニティへの貢献	【タカラバイオグループ】 ・セミナー・ワークショップ開催を通じ、バイオテクノロジーの基礎から最新技術の普及を図る。 ・オープンイノベーションを通じ、アカデミアシーズの事業化を推進する。 ・バイオテクノロジーの社会的理解の促進に努める。
(2)遺伝子解析技術の検査や診断への応用	ウイルス等の検査・診断キットの提供	【タカラバイオグループ】 世界的に流行する感染症のウイルス検査製品に加え、世界各地の特性や需要に合わせた“グローバル”な製品開発により対象範囲を拡大する。
(3)遺伝子治療実現への取り組み	がんなどをターゲットにした遺伝子治療の技術開発・社会実装	【タカラバイオグループ】 ・自社および提携による遺伝子治療開発プロジェクトを推進する。 ・再生医療等製品の開発・製造支援事業（CDMO事業）を推進する。
(4)健康配慮型商品の提供	糖質ゼロ、糖質オフ製品の開発	【宝酒造】 おいしさや飲みごたえ、調理効果はそのままに、糖質ゼロやオフの機能性をもつ商品をお客様のニーズに合わせて開発する。
	料理清酒の食塩ゼロ訴求	【宝酒造】 料理清酒の食塩ゼロ認知率を2030年までに35%まで向上させる。
	オーガニック食品等の提供	【宝酒造インターナショナルグループ】 オーガニック及びビーガン対応商品を、2025年度までに1,369アイテム（2021年3月から+100アイテム）まで拡大させる。
	食物アレルギーに配慮した商品の開発	【宝酒造インターナショナルグループ】 グルテンフリー等の商品を、2025年度までに1,540アイテム（2021年3月から+50アイテム）まで拡大させる。

酒類メーカーとしての責任

お酒は、古来より人間関係を円滑にするコミュニケーションツールとして大事な役割を果たしてきました。しかし、一方で、20歳未満の者の飲酒や飲酒運転など、いわゆるアルコール関連問題を引き起こすこともあります。

宝グループでは、アルコール関連問題に対して正面から取り組むことが、酒類を製造・販売する企業として重要な責任であると考え、「責任ある飲酒に関する基本方針」を定め、取り組みを進めています。

「責任ある飲酒に関する基本方針」

私たち宝グループは、酒類の製造・販売を行う企業として、アルコール関連問題への対応を重要な責任と考えており、さまざまな活動を通じて、健全な酒類文化の発展のために、社会に働きかけを行います。

- 適正飲酒を啓発するために、宝グループの従業員すべてが責任をもった行動をします。
- ウェブサイトや冊子による啓発、商品本体や広告での注意事項の表示などにより、アルコール依存症その他の多量飲酒、20歳未満の者の飲酒、妊産婦飲酒、飲酒運転などの問題解決に努めます。
- 業界団体、NPO等、様々なステークホルダーとともに、アルコール関連問題に取り組みます。
- 酒類の製造・販売、広告活動を行うにあたり、関連法令、業界自主基準、宝グループコンプライアンス行動指針や社内規程を遵守します。
- 従業員に対する啓発活動を推進します。

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(1)適正飲酒の啓発	ウェブサイトや冊子による啓発	【宝酒造】 宝酒造ウェブサイトの適正飲酒啓発ページビュー数について、2022年度に対2020年度比20%増、2025年度に対2020年度比50%増を達成する。
	従業員に対する啓発	【グループ全体】 ・グループ全体の従業員に対し、適正飲酒についての啓発を行う。 ・2021年度までに国内グループ会社*全従業員を対象とした適正飲酒に関するeラーニング等の受講率100%を達成する。
(2)責任あるマーケティングの実施	責任ある広告の実施	【宝酒造】 広告・宣伝の自主基準に対する違反件数ゼロを継続する。
	商品表示における配慮	【宝酒造】 ・ホームページに主な商品の純アルコール量を開示する。(2021年4月より順次) 2025年度までに国内で販売するすべての消費者向け商品(酒類調味料除く)に純アルコール量を表示する。 ・2025年度までに「20歳未満の者の飲酒禁止表示」に加え、「妊産婦への注意表示」、「適量飲酒の啓発表示」をすべての消費者向け商品(酒類調味料除く)に表示する。
(3)グローバルガイドラインの尊重	WHOアルコール世界戦略の尊重	【宝酒造】 WHOアルコール世界戦略の支持を表明し、その内容を従業員に周知徹底する。
(4)外部イニシアチブへの参加	公益法人等が行う適正飲酒の普及・啓発事業等への参画	【宝酒造】 企画委員、実務者委員として、アルコール健康医学協会及び広告審査委員会が行う適正飲酒啓発活動へ能動的に参画する。

環境(1/2)

「宝グループ環境方針」

宝グループは、地球環境の保全と事業活動の調和を経営の重要課題のひとつとし、環境マネジメントシステムを構築して継続的な改善に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献します。

1. 環境に関連する法令および組織が同意するその他の要求事項を順守します。
2. 宝グループが行う事業活動の中、以下の項目について重点的に取り組みます。
 - ① 環境汚染の予防に努めます。
 - ② 省エネ・省資源を推進し、持続可能な資源の利用に努めます。
 - ③ 温室効果ガスの排出量を削減し、気候変動の緩和に努めます。
 - ④ 生物多様性や生態系の保護・保全に関わる活動を推進、支援します。
 - ⑤ 容器包装の3Rへの対応など、環境に配慮した商品開発に努めます。
3. 環境活動への取り組みや環境パフォーマンス情報を積極的に開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。
4. 本環境方針は、教育啓発活動を通じて宝グループの全構成員に周知するとともに、社員の社会貢献活動への参加を積極的に支援します。

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(1)気候変動問題への対応	CO2排出量の削減	<p>【2030年度】</p> <p>【宝酒造・宝酒造インターナショナルグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産拠点におけるCO2排出量を2018年度比で46%削減する。 <p>【タカラバイオグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出原単位（売上高当たりのCO2排出量）を2018年度比で50%削減する。 <p>【宝酒造（物流部門）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝酒造製品の輸送におけるCO2排出原単位（出荷数量当たりのCO2排出量）を2018年度比で10%削減する。 <p>【2050年度】</p> <p>【グループ全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝グループ連結でCO2排出量を実質ゼロにする。
(2)適正な水使用	地域の特性に配慮した水の使用	<p>【宝酒造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2030年度までに、宝酒造の用水原単位（販売数量当たりの用水使用量）を2017年度比で9%削減する。 ・水源保護、廃水保全の取り組みを継続する。
(3)廃棄物排出の抑制	工場廃棄物の削減および再資源化の推進	<p>【宝酒造】</p> <p>宝酒造の製造工程における廃棄物の再利用率98%以上を継続する。</p>
	フードロス削減への取り組み	<p>【宝酒造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希少な国産果実をはじめとした原料の有効利用率を向上させる。 ・自社商品やそれを利用した加工食品のロングライフ化を進める。

環境(2/2)

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(4)環境に配慮した製品パッケージ、梱包への対応	環境に配慮した製品の開発	<p>【宝酒造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量り売り製品の販売を継続する。 ・3 Rに配慮した持続可能な容器包装の導入を進め、2050年度までに100%を目指す。 ・紙パック製品の森林認証紙化を進め、2030年度までに100%を目指す。 ・紙、樹脂ラベルへのバイオマスインクの使用率を2030年度までに100%を目指す。 <p>【タカラバイオグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙パッケージの森林認証紙化を進め、2025年度までに100%を目指す。 ・片面アルミパウチのアルミレスパッケージの採用率を2025年度までに100%を目指す。 ・紙パッケージへのベジタブルオイルインクの使用率を2025年度までに100%を目指す。
	リサイクル啓発冊子の無償配布	<p>【宝酒造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望者への無償提供を継続する。
(5)生態系・生物多様性の保全	生態系や生物多様性を守る活動や研究への助成	<p>【宝HLD】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タカラハーモニストファンドによる助成を継続する。 <p>【宝HLD・宝酒造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業場における地域貢献活動を継続する。

ガバナンス（1/2）

「宝ホールディングス コーポレートガバナンスポリシー」＜基本的な考え方＞

当社は、当社グループ創立100周年を迎える2026年3月期を最終年度とする長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」を策定し、当社グループとしての「ありたい姿（Vision）＊」と、それを実現するための経営戦略・事業戦略を設定しております。

当社は、この「ありたい姿」を実現することこそが、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上につながるものであり、その効果的・効率的な実現に向けた透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うためのコーポレートガバナンス体制が必要であると考えております。またそれと同時に、信頼される企業グループであり続けるために、株主、顧客、従業員、債権者、地域社会等のステークホルダーの立場を尊重し、適切なコミュニケーションに努めていくための体制が必要であるとも考えております。

当社は、上記の考え方のもとにコーポレートガバナンス体制を構築していくことで持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ることとし、「宝ホールディングス コーポレートガバナンスポリシー」に定める具体的方針に則って取り組んでまいります。

＊「ありたい姿（Vision）」

【笑顔で繋がる豊かな暮らしを ～Smiles in Life～】

「宝グループは、おいしさを目指す技術と革新的なバイオ技術によって、和酒・日本食とライフサイエンスにおける多様な価値を安全・安心に提供し続けることで、人と人の繋がりと笑顔にあふれた健康的で豊かな日々の暮らしに貢献します」

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(1)コーポレートガバナンスの推進	最適なコーポレートガバナンス体制の構築 ・取締役および取締役会 ・監査役および監査役会 ・独立役員を選任状況 ・役員報酬	【宝ホールディングス】 グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けて、適切なコーポレートガバナンス体制が整備されている状態を継続する。
	最適なグループガバナンスの検討	

ガバナンス (2/2)

「宝グループ コンプライアンス行動指針」＜基本的な考え方＞

宝グループは、「自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します」という企業理念の実現をめざし、「消費者のいきいきは、私のいきいき」という行動規準に則り、常に誠実で公正な企業活動を行います。

私たちは、

- ① 国内外の法令を遵守するとともに、社会倫理を十分に認識し、社会人としての良識と責任を持って行動します。
- ② 自然環境への負荷の軽減に取り組み、生命の尊厳を大切に生命科学の発展に貢献します。
- ③ この行動指針に反してまで利益を追求することをせず、公正な競争を通じた利益追求をすることで、広く社会にとって有用な存在として持続的な事業活動を行います。
- ④ 就業規則を遵守し、就業規則に違反するような不正または不誠実な行為は行いません。
- ⑤ 常に公私のけじめをつけ、会社の資産・情報や業務上の権限・立場を利用しての個人的な利益は追求しません。

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(1)コンプライアンスの推進	コンプライアンス推進体制の強化	【グループ全体】 企業理念を実現するために、役員・従業員一人ひとりが「コンプライアンス行動指針」に基づいた行動を徹底し、海外を含めたグループ全体でコンプライアンスを推進する。
	コンプライアンス教育の実施	・宝グループに属する一人ひとりが遵守すべき「法・社会倫理」に関わる行動指針である「コンプライアンス行動指針」を全従業員に配布し、コンプライアンスの徹底を図る。
	内部通報制度の適切な運用	・リスク・コンプライアンス委員会を定期的に開催する。(原則年間2回) ・コンプライアンスに対する役員・従業員の意識向上を図るため、職制に応じた研修を実施する。(原則年1回) ・コンプライアンスに係る重点テーマについての職場教育を実施する。(原則年4回) ・内部通報制度を適切に運用するとともに、通報内容に対して迅速かつ適切に対応することで、法令違反や不正行為の未然防止・再発防止につなげる。
(2)リスク管理体制の強化	リスクマネジメント (平時のリスク管理)の推進	【グループ全体】 国内外において企業を取り巻くリスクの顕在化防止と軽減に取り組むとともに、災害等の緊急事態発生時に迅速かつ適切に対応できる体制を構築する。
	クライシスマネジメント (有事のリスク管理)の推進	・「職場点検報告書」や「リスク・コンプライアンスチェックリスト」、従業員へのヒアリング等を通じ、各社・各事業場のリスク管理状況に対するモニタリングを行い、リスクの顕在化防止とリスクの低減につなげる。(原則年1回) ・各種防災訓練(安否確認訓練、消防訓練、AED使用訓練等)を定期的に実施する。(原則年1回)

豊かな食生活

宝グループは、グローバル和酒No1企業としてのプレゼンスと、海外での日本食材卸ネットワークを活かして、和酒・日本食の価値や魅力を高め、人と人の繋がりにあふれた豊かな食生活を世界中にお届けします。

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(1)和酒・日本食を通じた世界中の人々への食の豊かさの提供	<p><和酒の魅力や新たな価値の発信・提供></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実体験型飲食イベントの開催 ・新機軸商品による市場開発 ・WEBサイト、SNSを活用した情報発信 ・和酒の魅力・価値の海外での浸透 <p><日本食の魅力や新たな価値の発信・提供></p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売先と連携した調味料セミナー、クッキングラボ等の開催 ・外部イニシアチブへの参画 ・日本食文化の海外での浸透 	<p>【宝酒造】</p> <p>〔焼酎〕</p> <p>「レモンサワーで日本を元気に！プロジェクト」を継続推進し、「焼酎+レモン+炭酸」でつくる日本独自の飲酒文化「レモンサワー」を啓発する。</p> <p>《目標》レモンサワーフェスティバルなどの実体験型飲食イベント（オンライン含む）や飲食店応援企画を継続開催する。</p> <p>〔清酒〕</p> <p>日本酒になじみのない若年層に向けて「濁」を中心としたスパークリング清酒を中心に、日本酒の魅力について情報発信する。</p> <p>《目標》濁を中心にユーチューブチャンネルをはじめ各種SNSで公式ページを開設し、2025年度にフォロワー数計30万人以上を目指す。</p> <p>【宝酒造インターナショナルグループ】</p> <p>2025年度までに海外専用商品、海外事業会社商品10アイテムを開発する。</p> <p>【宝酒造】</p> <p>「タカラ本みりんレシピコンテスト」やNPO法人日本料理アカデミーと共催する「京名料理人に学ぶ日本料理教室」を継続開催し、本みりんや料理清酒を使った新たな需要開発と日本食の魅力を啓発する。</p> <p>《目標》「タカラ本みりんレシピコンテスト」と「京名料理人に学ぶ日本料理教室」を継続開催する。</p> <p>【宝酒造インターナショナルグループ】</p> <p>日本食の海外でのさらなる浸透を図るべく、各地で開催される展示会への出店や情報発信、日本食料理人の育成などに取り組む。</p>
(2)お酒を通じたコミュニケーション創出と生活への潤い付与	<p>お酒の楽しさや酒文化に関する情報発信</p>	<p>【宝酒造】</p> <p>2025年度までに宝酒造公式「facebook」フォロワー数計20万人以上を目指す。</p>

人財

宝グループは、「人」はかけがえのない「財産」であるとの視点に立ち、人材を「人財」と表現します。企業は社員一人ひとりが集まって成り立つ組織であり、「人財」の総合力が企業の成長と発展の源泉であるとの考えから、さらなる企業価値の向上と事業継続を実現するためには、風土や「人財」の進化が欠かせないと私たちは考えています。

人間尊重の立場に立ち、「いきいきと明るい職場、人を育む風土」をつくり、その中で「企業人・社会人・個人のバランスのとれた人財」を育成することを私たちはめざしています。

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(1)人財育成	次世代を担う人財育成策の実施	【グループ全体】 各種教育プログラムの実施により、グローバルな事業成長とグループの次世代を担うことのできる人財を育成する。
	グローバルな事業成長を実現する人財（グローバル人財）の育成	
	研修施設「宝ホールディングス歴史記念館」を活用した人財育成	
(2)多様な人財の活躍推進	女性の活躍推進	【グループ全体】 ・女性役職者数を増加させる。 国内において女性活躍推進法行動計画に基づいた取り組みを継続するとともに、特に宝HLD、宝酒造、宝酒造インターナショナルの3社については、2030年度までに新たにのべ50人以上（2021年4月現在の女性役職者数39人の128%以上）の新任女性管理職、新任女性課長補佐を登用（中途採用による登用含む）することを目指す。 ・70歳までの就業機会を創出する。 宝HLD、宝酒造、宝酒造インターナショナル、タカラバイオの4社については、2021年度中に65歳から70歳までの就業機会の創出に向けた取り組みを開始する。 ・障がい者雇用率2.3%（2021年4月現在の国内法定雇用率）以上を維持する。 ・多様な人財の獲得に向けた中途採用のさらなる活用を進める。
	シニア人財の活躍推進	
	障がい者雇用の推進	
(3)快適な職場環境とワークライフバランスの実現	職場の安全衛生確保	【グループ全体】 ・総労働時間数を2020年度実績比で削減する。(国内グループ会社*) ・有休取得率（取得日数）を2020年度実績比で向上させる。(国内グループ会社) ・育児休職からの復職率100%を維持する。(国内グループ会社) ・在宅勤務制度の効果的な活用を進める。
	労働関係法令の遵守	
	長時間労働の防止	
	多様な働き方の推進	

*国内グループ会社：宝HLD、宝酒造、宝酒造インターナショナル、タカラバイオ、大平印刷、川東商事、トータルマネジメントビジネス、タカラ物流システム、ティービー、タカラ容器、タカラ物産、ラック・コーポレーション、東京共同貿易

調達

お客様に安全で安心な商品・サービスを継続して提供していくためには、ビジネスパートナーである調達先と持続的な取引を継続することが不可欠です。宝グループは、「宝グループ調達方針」に基づき、原材料等の安全性や品質の確保に加え、環境や人権、法・社会倫理の遵守といったサプライチェーン全体の社会的責任にも配慮することで、持続可能な調達の実現を目指しています。

「宝グループ調達方針」

1. 安全性と品質の確保
「宝グループ品質方針」に則り、高い安全性と品質の確保を目指した活動を推進します。
2. 環境への配慮
「宝グループ環境方針」に基づき、地球環境に配慮した活動に取り組みます。
3. 人権への配慮
「宝グループ人権方針」に則り、人権に配慮した活動に取り組みます。
4. 法・社会倫理の遵守
「宝グループコンプライアンス行動指針」に則り、法・社会倫理を遵守します。
調達先に接待・贈答を要請することなく、社会常識の範囲を超える接待は受けません。
5. 公平かつ公正な取引
すべての調達先に対し、良識と誠実さを持って接し、公平かつ公正な取引を行います。
調達先の選定にあたっては、品質、価格、納期、技術力、供給能力などの条件に基づき、公平かつ公正に比較・評価して決定します。
6. 情報セキュリティの保持
調達活動において取得した機密情報および個人情報情報は適正に管理します。
7. 調達先への期待
上記の内容については、調達先に対しても同等の配慮を期待し、サプライチェーン全体での取り組み推進に努めます。

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(1)調達先との協業	持続可能な調達を行うためのガイドラインの策定と調達先への遵守要請	【宝酒造】 ①2021年度までに全ての調達先に対し、サステナビリティ調達ガイドラインの説明を行う。 ②主要調達先のうちサステナビリティ調達ガイドラインを満たす調達企業の割合を、2025年度に70%以上、2030年度に80%以上とする。

人権

宝グループでは、すべてのステークホルダーの人権を尊重するため、「宝グループ人権方針」を定め、教育・研修をはじめ様々な取り組みを進めています。

「宝グループ 人権方針」

私たち宝グループは、事業活動を通じ、従業員のみならず、取引先、お客様、地域社会など、さまざまなステークホルダーの人権に影響を及ぼす可能性を有していることを認識し、国際連合の「国際人権章典」及び国際労働機関（ILO）の「労働における基本的原則及び権利に関する宣言」に規定された人権を尊重します。

本方針は宝グループすべての役員・従業員に適用されます。また、ビジネスパートナーに対しても、本方針への支持と遵守を求めます。

- 事業活動を行うあらゆる国において、各国の法令・規制を遵守します。
- あらゆるステークホルダーの多様性、人格、個性を尊重し、出生、国籍、人種、民族、信条、宗教、性別、年齢、障がいの有無、性的指向、性自認、雇用形態、趣味、学歴などに基づく、非合理的あらゆる差別の一切を認めません。
- 結社の自由の権利と団体交渉の権利を支持します。違法な児童労働や強制労働は、国内外の労働環境においてこれを認めません。
- 法令・規制や、本方針を含む社内規程の違反に関する通報窓口を社内および社外第三者機関に設置し、運営します。また、通報等の行為を理由とする通報者の不利益取扱は禁止します。
- 従業員に対し人権方針を広く周知するとともに、継続した教育・研修を行っていきます。

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(1)人権の尊重	新入社員研修や階層別研修での人権学習の実施	【グループ全体】 「宝グループ 人権方針」に基づき、多様性（性別、年齢、人種、性的指向、性自認、障がいの有無など）、人格、個性を尊重し、差別やハラスメントのない職場環境の維持を目指す。
	多文化（多国籍文化）の理解・尊重	
	差別のない採用活動	
	ハラスメント防止への取り組み	
	個人情報・プライバシーの保護	
(2)人権リスク特定に向けた取り組み	人権リスクの特定・評価に向けた体制構築	【グループ全体】 当社グループのバリューチェーン全体における人権リスクの特定と評価に向けた仕組み（人権デューデリジェンスのプロセス）を2022年度までに構築し、2023年度より人権リスクの特定・評価の取り組みを開始する。

コミュニティ

宝グループは、地域社会とコミュニケーションをはかり、地域社会のニーズや課題を認識し、それらの解決に取り組むことで、地域社会の発展に貢献します。

社会が求めるニーズや課題には、「気候変動問題」などの地球規模の課題から地域の「ごみ問題」、「次世代を担う子どもたちへの教育」、「経済や文化の振興」、「大規模災害被災支援」など多岐にわたり、それらは時代とともに変化します。

私たちは、よき企業市民として、ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、今、地域社会がどのような課題を抱え、何を求めているのかを知ること努めます。その結果、知り得たニーズや課題に対して、私たちが寄与できることを考え、実践に移すことで、地域社会の発展に貢献します。

取り組みテーマ	具体的施策	目標
(1)子どもたちへの教育	環境教育や食育等を目的としたイベントの開催、地域の小学校等への出前授業の実施	【宝酒造】 ・宝酒造「田んぼの学校」を継続実施する。 ・宝酒造「エコの学校」を継続実施する。 【タカラバイオグループ】 ・近隣の教育機関を対象とした“出前講義・授業”を継続実施する。 (遺伝子治療や再生医療など講演及びキャリアプラン設計のための活動体験の発表を継続的に実施)
(2)地域社会・文化振興への貢献	地域の清掃活動等への参加、地域社会への支援	【グループ全体】 全国各地で行われている清掃活動へのボランティア参加や地域イベントへの協賛などに参加・協力を継続して実施する。
	アマチュア囲碁大会の開催	【宝酒造】 ・「宝酒造杯 囲碁クラス別チャンピオン戦」を継続実施する。
(3)地域経済の振興	地域密着型商品の継続的育成	【宝酒造】 地域の希少な自然の恵みを使用し、農業生産者と消費者をつなぐ「寶クラフト」や、地域の嗜好に適した地域限定商品の開発・育成を継続する。
(4)大規模災害への被災支援	被災地域への義援金拠出や給水活動、ボランティア活動	【グループ全体】 自治体の要請等に対し、給水活動を主とするボランティア活動など、可能な限りの迅速な支援活動を実施する。